

サッポロビール(株)×北海道大学 150周年共創企画 「サッポロ クラシック FRONTIER MEMORIAL」7月28日(火)数量限定発売

北海道大学開発のビール大麦麦芽「北大1号」を使用した特別なクラシック



サッポロビール(株)と北海道大学は北海道への150年の感謝の気持ちを込めて、「サッポロ クラシック FRONTIER MEMORIAL」の缶商品を7月28日(火)に北海道エリアで数量限定発売します。また、今夏に開催予定の大通西8丁目「THE サッポロビヤガーデン」において、樽商品(注1)を7月23日(木)から先行体験いただけます。

1876年に「開拓史麦酒醸造所」として創業したサッポロビールと、「札幌農学校」として創基した北海道大学は本年ともに150周年を迎えます。これまでともに歩んできた歴史の糧を繋ぎ、Well-beingな未来創造を目指す「北の大地から、未来をつむぐ」プロジェクト(注2)を本年1月に始動し、その取り組みの一環として本商品を発売します。

本商品は100年以上前、北海道大学(旧札幌農学校)において日本初の交雑育種に成功したビール大麦麦芽「北大1号」を一部使用し、さらに3種の北海道産ホップを贅沢に使用することで、豊潤な香りと素材のうまみを引き出し、爽快な飲みごたえを実現しました。

パッケージデザインは150周年のロゴをあしらい濃紺を基調としながら、金色で統一されたブランドシンボルとしました。150周年の軌跡から誕生した、プレミアム感あふれる本年限りの特別なクラシックをお楽しみください。

サッポロビール(株)と北海道大学は、150周年という節目を契機にWell-beingな社会の実現に向けた協働を深め、北海道の新たな価値創造に貢献していきます。

(注1) 樽商品は数量限定につき、開催期間中になくなり次第終了です。また「サッポロビール博物館」と「サッポロビール北海道工場」、北海道大学・札幌キャンパス・インフォメーションセンター内カフェ de ごはん「緑のビアテラス」でも7月28日(火)から数量限定で取り扱う予定です。

(注2) https://www.sapporobeer.jp/news_release/0000018572/

■商品概要

- | | |
|------------|---|
| 1. 商品名 | サッポロ クラシック FRONTIER MEMORIAL |
| 2. パッケージ | 350ml 缶、20L 樽 |
| 3. 品目 | ビール |
| 4. アルコール分 | 5.5% |
| 5. 純アルコール量 | 350ml 缶 : 15.4g |
| 6. 発売日・地域 | 350ml 缶 : 2026年7月28日(火)・北海道限定
20L 樽 : 2026年7月23日(木)・大通西8丁目で7月23日(木)から開催する「THE サッポロビヤガーデン」で先行提供予定
※数量限定につき、なくなり次第終了となります。
※「サッポロビール博物館」と「サッポロビール北海道工場」、北海道大学・札幌キャンパス・インフォメーションセンター内カフェ de ごはん「緑のビアテラス」においても7月28日(火)から数量限定で取り扱う予定です。 |
| 7. 参考小売価格 | オープン価格 |
| 8. デザイン特長 | 150周年のロゴをあしらい濃紺を基調としながら、金色で統一されたブランドシンボルを配したプレミアム感あふれるデザイン。 |
| 9. 中味特長 | 100年以上前に北海道大学(旧札幌農学校)において日本初の交雑育種に成功したビール大麦麦芽「北大1号」を一部使用。さらに3種の北海道産ホップを贅沢に用い、道産ホップ100%使用を実現。豊潤な香りと素材のうまみを感じる、爽快な飲みごたえ。 |

※2026年6月10日(水) 商品画像を更新しました。

■代表者コメント

サッポロビール(株) 上席執行役員 北海道本社代表 兼 北海道本部長 牧野 成寿

150年にわたり日本の近代化・北海道の発展を支えてきた北海道大学と当社は、可能性を信じる多様な人財育成で、北海道の潜在能力を引き出し、地域資源の持続的活用と西洋技術の革新的アプローチによる「農業と産業との調和」を牽引してきました。今後もともに未来を切り拓き続ける象徴として、日本初の交雑育種に成功し、日本のビール大麦育種を切り拓いた大麦麦芽「北大1号」を使用した北海道限定「サッポロ クラシック FRONTIER MEMORIAL」。未来へ繋がる挑戦と物語を是非ご体験下さい。

北海道大学総長 寶金 清博

北海道の地に生まれ、共に150年の歴史を重ねてきたサッポロビール(株)様と、本学が開発したビール大麦麦芽「北大1号」を使用した特別な商品を、150周年の節目の年に発表できることを、大変光栄に思います。

本学が大切にしてきた「フロンティア精神」のもと、研究の場で培われた知が、ものづくりと交わり、一杯のビールとして結実しました。この記念の一杯が、過去を礎に未来をつむぐ新たな一歩として、皆様に北海道の豊かさと可能性を感じていただく機会となれば幸いです。

■「サッポロ クラシック」について

北海道で生まれ育ったサッポロビールが、地域限定ビールの先駆けとして1985年に北海道への感謝の気持ちを込めてつくった北海道限定ビールです。北海道産ホップ、北海道産大麦麦芽を一部使用し、副原料を一切使わない麦芽100%で、北海道の食や気候と合わせた爽やかな味わいが特長です。

サッポロ クラシック ブランドサイト：<https://www.sapporobeer.jp/classic/>

ーサッポロビール(株)×北海道大学 共創企画ー
Well-being な未来に向けた、新しいお酒の価値提案コンテスト実施について

1 サッポロビール×北海道大学 共創企画概要

150周年を記念した共創企画、「北の大地から、未来をつむぐ」プロジェクトの一環



1876年に「開拓史麦酒醸造所」として創業したサッポロビールと「札幌農学校」として創基した北海道大学は本年ともに150周年を迎えます。



ともに歩んできた歴史の絆を繋ぎ、Well-beingな未来創造を目指す「北の大地から、未来をつむぐ」プロジェクトを本年1月に始動し、そのプロジェクトの中で、北海道大学に在籍している学生を対象に、北海道のWell-beingな未来に向けた「持続可能性」と「お酒」をテーマとした、新しいお酒の価値提案コンテストを実施しました。

2 募集テーマ

①サステナブル×お酒の新アイデア②サステナブルな大通ビヤガーデンの施策アイデアを募集

・テーマ①北海道のWell-being な未来に向け、サステナブル×お酒のアイデアを考える

⇒学生の視点から「持続可能性」と「お酒」を掛け合わせて考えてもらうアイデアを募集しました。
このテーマでは、北海道の未来を担う学生の皆様にお酒を通じてサステナブルを身近に感じていただきながら、学びと実践を結びつけ、社会に新しい価値を届ける挑戦をしてもらうことを目指しました。

・テーマ②20代が今まで以上に楽しめるサステナブル要素を含んだ大通ビヤガーデンを考える

⇒お酒の「サステナブル」をより自分事と捉え、「今、何が実現できるか」を近い未来に向けて、夏の大通ビヤガーデン「THE サッポロビヤガーデン」会場（大通西8丁目）におけるアイデアを募集しました。
このテーマには、札幌の夏の風物詩に学生の皆さまの新しい風を吹き込んでいただき、来場者に新しい体験価値を届けることを目指しました。

【応募および審査内容】

2025年12月10日～2026年2月28日の期間募集し、北海道大学の学生の皆様の自由な発想から、2つのテーマで合計41件ものご応募をいただきました。
いただいたアイデアについては、持続可能性、社会的価値、経済的価値、独自性などの観点から、総合的に審査させていただきました。

THE SAPPORO BEER GARDEN

THE サッポロビヤガーデン



優秀賞受賞アイデア

各テーマの優秀賞受賞者 および
サッポロビール株式会社 上席執行役員 北海道本社代表 兼 北海道本部長 牧野成寿 のコメントです。

テーマ① 北海道のWell-being な未来に向け、サステナブル×お酒のアイデアを考える

水産学部 3年 三田 陸人 さんより

『歴史あるサッポロビール様と本学の共創の場にて、優秀賞をいただき深く感謝しております。私たちは、お酒が提供する「情質価値」を再定義し、環境と健康が共に潤う再生型の仕組みを提案しました。リサーチを通じて、一杯のビールが持つ「心を動かす物語」に改めて感銘を受けています。この受賞という光を道標に、次なる150年に向けて、新しいお酒の可能性を力強く「カイトク」してまいります。』

(牧野コメント)

『優秀賞受賞おめでとうございます。本提案は、北海道のWell-beingという大きなテーマに対し、北海道大学の学術的知見と当社の技術を掛け合わせ、身体・環境・社会の三層にわたる価値創造を構想している点を高く評価します。特に、競合や他大学と比して独自性ある研究連携を活かした農業・製造・消費をつなぐ構想は、北海道に根差してきた両者の取り組みとして高い親和性を持ち続けて行くと考えます。』

テーマ② 20代が今まで以上に楽しめるサステナブル要素を含んだ大通ビヤガーデンを考える

医学部 3年 棟方 瑠南 さんより

『今回、北海道大学とサッポロビールがともに150周年という節目を迎える大変意義深いコンテストにおいて、優秀賞に選出いただきましたこと、心より光栄に存じます。』

本コンテストに参加させていただく中で、「サステナブル」という言葉の持つ多様性やその実現の難しさについて深く考える機会をいただきました。

また、夏の風物詩である大通りビアガーデンにおいて、20代がこれまで以上に楽しめる価値とは何かを追求し、同じ20代であるからこそ見出せる視点を大切にしながら取り組ませていただきました。』

(牧野コメント)

『優秀賞受賞おめでとうございます。本提案は、さっぽろの夏の風物詩であり歴史的なビヤガーデンを、来場者の行動を通じてさっぽろの都市価値を創出する「参加型ビジネスモデル」へ転換を目指す点を高く評価します。特に、一杯のビールを「消費」から「未来を育てる参加」による社会的価値と経済的価値の統合へと昇華させる挑戦は、北海道と共に歩んできた当社製品との新たな個性と物語を生んでいくと考えます。』

今後の予定

本年開催の大通公園西8丁目「THE サッポロビヤガーデン」取材いただけます！



サッポロビールは、今回ご提案いただいたアイデアの実現について、前向きに検討していきます。

テーマ②については、2026年7月23日（木）から開催される夏の大通りビアガーデン「THEサッポロビヤガーデン」（大通公園西8丁目会場）での実現を目指し、受賞学生と意見交換を重ねております。

7月23日（木）には、寶金総長、受賞学生にもご来場いただき、実現されたアイデアをご覧ください。

＜本件に関するお問い合わせ先＞

サッポロビール(株) 北海道本部 戦略営業部 佐藤

TEL: 011-252-8240 mail: reiko.sato@sapporobeer.co.jp